

Title	ON時間OFF時間
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学工学部
Publication year	2020
Jtitle	新版 窮理図解 No.33 (2020. 3) ,p.6- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000033-0006

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.



運輸安全委員会

学外活動の一つとして、国の運輸安全委員会の委員（航空）を務めています。航空の事故・重大インシデントが生じた際、その原因の究明や再発防止の検討をすることが使命で、私はヒューマンファクターズの立場から参画しています。ヒューマンファクターズの歴史は航空安全の歩みとともにあるといってもよく、この委員会の仕事の中で事実から学ぶところは非常に大きいですし、また、ヒューマンファクターズの知見や研究を還元する場としても責務の大きいものだと思っています。

左は、運輸安全委員会設立10周年（航空・鉄道事故調査委員会と海難審判庁の原因究明部門を統合再編して発足後）の記念シンポジウムのパネルディスカッションで、恐れ多くも重鎮委員の発言をザックザックと斬ってタイムマネジメントに奮闘している様子。右は、夏に御巢鷹山の慰霊登山に行ったときのものです。



中西美和の ON と OFF

いつもなんでも全力投球。
仕事も遊びも本気でやるから面白い。



国際会議の合間に…

上はポーランド（クラクフ）での一コマ。右はイタリア（ヴェネツィア）での一コマ。いま思い返せば、この仕事に就くモチベーションの一つは、たくさん海外に行けることだったかもしれませんが、研究室から卒業していったOBたちとは折々に会いますが、あのときこうだったね、ああだったねと笑って思い出せるシーンが、国際会議の合い間にはたくさんあります。



お昼ご飯はみんな一緒に

研究室では、基本的にお昼ご飯はみんな一緒に食堂に食べに行きます。直前までゼミですったもんだの議論をしていますが、この時間は全てを忘れてプロ野球の話、アイドルの話、家族の話、などなど。（私自身がそうであったように）研究室の学生にとって、ここが一生の友を得る場であってほしいと思っています。